

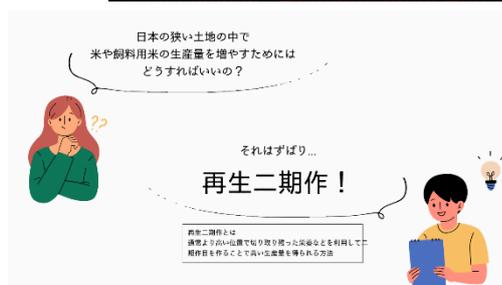
夏休み後から「Building a Team to Achieve SDGs(SDGs達成を目指すチームづくり)」と「Create Something to Move People(人々を動かす=感動させる何かを創ろう)」をテーマに、各クラスで決めたSDGs課題解決・改善のためのプロジェクトに取り組んできました。約半年間取り組んできたこのプロジェクトの発表会が行われました。

1日目は2組「お米について」と4組「海とジェンダーのドキュメンタリー」でした。それぞれの課題を自分事として捉え、解決・改善を目指して意見交換を重ね、インタビューをしたり、研究したりと試行錯誤を重ねた盛大なプロジェクトを発表してくれました。

以下、発表を見た生徒たちの感想です。

## 2組

●地球温暖化が与える影響を逆に利用するという発想がとても新鮮で新しい視点を手に入れる良いきっかけになった。●今までライスペーパーは聞いたことあったけど挑戦してはこなかったの、これを機に食べてみようと思った。●お米の消費量が減っていることは驚きでした。●お米の消費率が下がっていること、地球温暖化によって収穫率が下がっていることの2つの問題、そしてお米の良さを聞いて、積極的にお米を食事に取り入れていきたいと思った。●日本のお米はあまり問題を抱えているイメージがなかったが、1等米が減っているなど知らないうちに質が下がっている現状を知った。●お米のことについて楽しみながら様々なことを学ぶことができてよかった。今の日本の危機的な状況について知ることができたので、今自分ができていることをしていきたいと思った。●私たちは毎日お米を食べられる環境にあるからお米に問題があるとは思わなかったけど、今回の発表で消費量について問題があると分かったので、積極的な消費に取り組みたいと感じた。



## 4組

●「より多くの人々が継続的に」というのは、ごみ拾いに限らず全てのSDGsに対していえると感じた。●ジェンダー平等について、自分たちも日頃から考え意識していきたいと思った。●生活用品や食品などの消費を通じて企業のSDGs、さらには日本全体のSDGsに貢献したいと思った。●牛乳などから生分解性プラスチックを作れるということを知らなかったの、どういう仕組みなのか気になった。●さまざまな人々へのインタビューや海のゴミを拾う調査などの活動がたくさん行われていったので現在どのような問題が残っているのかをしっかりと把握することができた。●海の豊かさを守るには街をきれいにしなければならないことが知れたので、まずは街をきれいにする活動に自分も参加していきたい。●ジェンダーのこと、海のことについて、それぞれ深く調べていたことがとても伝わった。どちらのことも同様に、日常の自分の選択一つ一つから世の中を変えられると改めて気づかされた。

